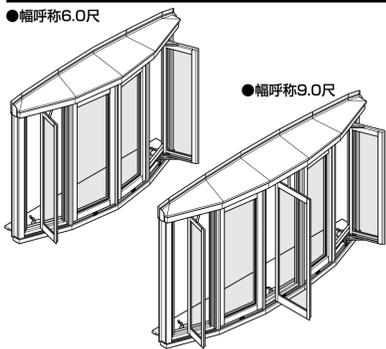


アルミと樹脂の複合サッシ シンフォニー 居室用出窓J型 組立て説明書

■ 姿図

●幅呼称6.0R



■ 組立て手順

1. FIX上・下枠と障子枠の組立て

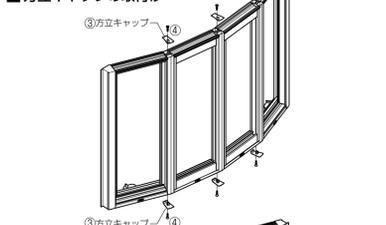
●幅呼称6.0R



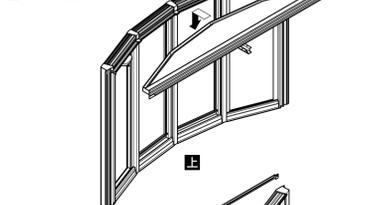
●幅呼称9.0R



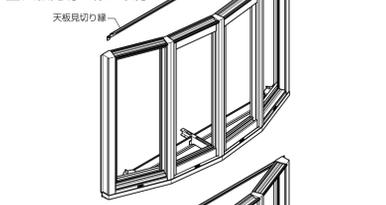
2. 方立キャップの取付け



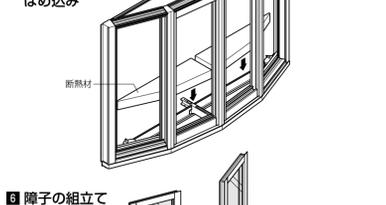
3. 下枠補強材の取付け



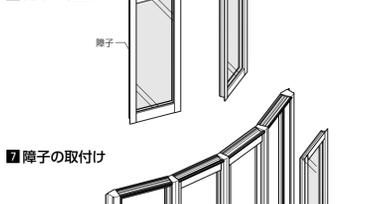
4. 天板見切り縁の取付け



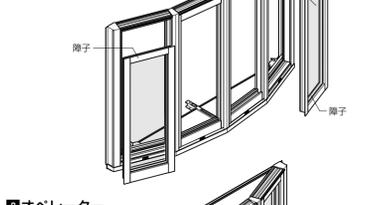
5. 断熱材のはめ込み



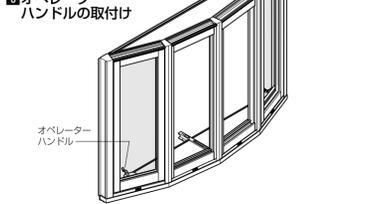
6. 障子の組立て



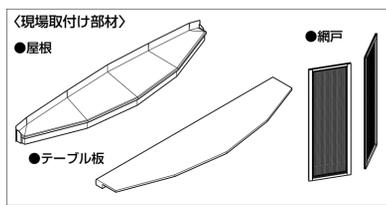
7. 障子の取付け



8. オペレーターハンドルの取付け



9. 障子の開閉確認



■ 組み立てられる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。
▲注意…組み立てを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 本製品は複層ガラス使用のため、組立て後の製品重量は最大95kg（屋根を含めると110kg）になります。施工は対応する人数で行ってください。思わぬけがをするおそれがあります。
- 仮止め状態で障子の開閉等をしないでください。障子が落下するおそれがあります。
- 組立て時はコーキングシーラーが下枠のまわりにはみ出すように合わせてください。

■ 組立て上へのお願い

- 本製品は、本体・屋根・障子・下枠補強材で構成され、それぞれ別梱包となっております。
- テーブル板は色・形状を選定するため、別売りとなっております。
- テーブル板と屋根の内側に雨がからないようにしてください。製品に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- 必ず下枠補強材を取り付けて出窓を立てた状態で運搬してください。枠が変形するおそれがあります。
- ねじは2.5±0.5N・m（25±5kgf・cm）のトルクで止めた後、ゆるみ・がたつきのないことを確認してください。
- ノリ防止のため、樹脂面を直射日光に当たった状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたり傷ついたりしやすいので、ぶついたりこすったりしないでください。
- 組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。
- 樹脂材に荷重がからないように、保管・輸送の際は保護してください。



■ 組立て部品一覧表

※下表の番号は本文中の番号を示します。間違いないよう使用してください。

● 本体組立て用

番号	①	②	③	④	⑤	⑥
名称	ジョイント板(上)	ジョイント板(下)	方立キャップ	φ4×12 皿タップねじ	φ4×16 トラストピンねじ	M4×10 シール付特平小ねじ
姿図						
使用箇所	障子枠-FIX上枠	障子枠-FIX下枠	方立	方立キャップ	下枠補強材-下枠	縦枠-水切口
表示	表示なし	表示なし	表示なし	表示なし	表示なし	表示なし

● 障子組立て用

番号	⑦	⑧	⑨	⑩
名称	φ8ワッショボタン	φ4×20ナベタップピンねじ	φ4×30ナベタップピンねじ(固定付)	M4×10皿ねじ
姿図				

● オペレーターハンドルセット

番号	⑪	⑫
名称	ハンドル	M4×6トラスねじ
姿図		

■ 組立て詳細図

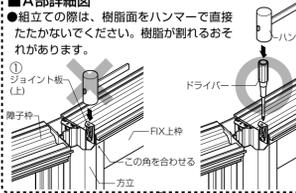
※図中の番号は、組立て部品一覧表の番号を示します。間違いないよう使用してください。

1. FIX上・下枠と障子枠の組立て

①障子枠・方立をFIX上枠を合わせてジョイント板(上)をハンマー等で最後まで打ち込みます。
②同様に、FIX下枠・ジョイント板(下)を取り付けます。

※ジョイント板は、必ず最後まで打ち込んでください。屋根・方立キャップが取り付けられなくなります。
※ジョイント板は外側から先に打ち込んでください。内側から打ち込むと天板見切り縁が取り付けられなくなります。
※枠を上下に反転させる時は、FIX上・下枠が変形しないようにしてください。特に幅呼称9.0Rの場合は、中央の障子枠を押しながら反転してください。
※補強ジョイント板は室内側に使用してください。

■ A部詳細図



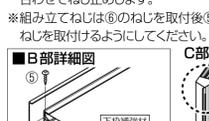
2. 方立キャップの取付け

※ねじはあまり締めすぎないようにしてください。
●方立キャップを方立の上部・下部に取り付けます。



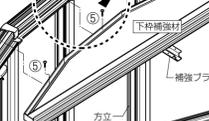
3. 下枠補強材の取付け

●下枠補強材から断熱材を取り出します。
●出窓本体の下枠に下枠補強材を当て、下枠および水切の連結金具の加工穴に合わせてねじ止めします。
※組み立てねじは⑥のねじを取付け⑤のねじを取付けるようにしてください。



4. 天板見切り縁の取付け

●天板見切り縁両端の部品を、縦枠の切欠きに差し込みます。



5. 断熱材のはめ込み

●⑧で取り出した断熱材を下枠補強材へ押し込みます。



▲注意

- コーキングシーラーが下枠のまわりにはみ出すように合わせてください。

3. 障子の組立て

(1) グレイジングチャンネルの取付け

①ガラス厚に合ったグレイジングチャンネル(別売り)を用意し、ガラス4周に廻します。
※コーナー部はグレイジングチャンネルがくい込まないようにしてください。
②ガラス室内側の4隅のカット部及びジョイント部に、ガラスコーナーシール(別売り)を張ります。
※高断熱・高気密住宅の場合、必ず実施してください。

(2) 障子の組立て

①ガラスコーナーシールを室内側に、左右縦枠に差し込みます。
※縦枠の上下残りの切欠き部にガラスが12mm出るようにしてください。(D部詳細図)
②上下残を差し込み、縦枠とねじで仮止めします。

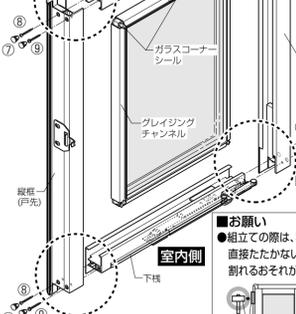
※障子組立て後に保管する場合は、障子フィンに重量がかからないよう木等を当ててください。
木又はスチロール

■ グレイジングチャンネルの使い分け

種別	ガラス厚18-20mm用	ガラス厚21-22mm用
ガラス厚	18mm	20mm
グレイジングチャンネル	1本ハクリテごめください	2本ハクリテごめください



■ D部詳細図



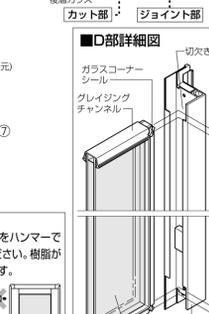
4. 障子の取付け

- 障子に付いている上・下アームを引き出し、90°に広げます。
- 縦枠(つり元側)上下の端部ピースに、上・下アームを差し込みます。
- F部のねじを最初に取り付けます。(障子が仮止めされます。)
- 残ったねじをすべて固定します。
- ※逆の手順で障子を取り外せます。

▲注意

仮止め状態で障子の開閉等をしないでください。障子が落下するおそれがあります。

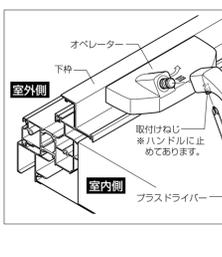
■ E部詳細図



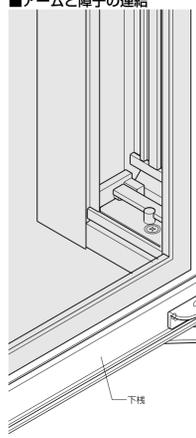
8. オペレーターハンドルの取付け

※オペレーターハンドルに同梱のねじで取り付けてください。

- ハンドルをオペレーターの軸に差し込み、ねじ止めします。
 - ハンドルを回し、オペレーターのアームを出します。
 - オペレーターのアームを障子の連結アームとねじ止めします。
- ※障子を閉じた時、ハンドルの位置が下に向かうねじをしめてください。



■ アームと障子の連結



9. 障子の開閉確認

- オペレーターハンドルを回して障子がスムーズに開閉するかどうか確認します。
 - サブロックが障子縦枠のサブロック受けクレセントに引っかかるかどうか確認します。
- ※引っかかる場合は、下記の要領で調整してください。
〔上下前後方向〕
●サブロックのねじをゆるめて調整します。
〔障子見込み方向〕
●サブロック受けクレセントのねじをゆるめて調整します。

■ G部詳細図



■ 各部名称図

※図中の番号は、組立て部品一覧表の番号を示します。間違いないよう使用してください。

(例: 幅呼称6.0R)

